

迎賓の思想

還暦を迎えた平成元年（一九八九年）、新たな飛躍を期してGKを十三の会社に分割した。一つの会社ですべてをやるには仕事が多くなりすぎ

食で隠れ、子供たる光が四方八方に独立して発散するイメージから、「コロナ計画」と名付けた。親会社は持ち株会社となるが、権力は発揮せず調停役に徹し、年末の会議など共通の事業を親会社が運営することにした。

平成三年、GKグループの披露パーティーをパレスホテルで行った。今の幹部には「白地に赤の車体は、成田で

った。将来性があると思いい、「やらせてほしい」と頼み込んだのだ。その年は横浜市営地下鉄の車両の一部とサイン設計にも関与した。こうして車両のデザイン分野にどんどん入っていった。デザイン総

まった。だから「迎賓の心」の復活を主張しているが、それが開花したのは茶道だ。千利休が小さな茶室を作ってお客を招き、顔と顔を近づけて親しくなろうとした。さまざま工夫を凝らして人に楽しんでもらわなければ、信頼関係は生まれてこない。

書

司

憲

庵

久

栄

私の履歴書

⑦

車両設計 茶の心手本

白地に赤「ようこそ日本へ」

サインをもっと深め、孫会社を作らなければいけない」とはっぱをにかけている。

平成四年には、通産省アサイン功労者で表彰され、監製を委任した。人から「文化人向けの装束を穿じやない」と言われたが、私は長年身を置いたインターストリアル

研広島も新交通システム「アストラムライン」（一九九五年）のほか、年末開業するシンガポールの新交通システムのデザインもしている。

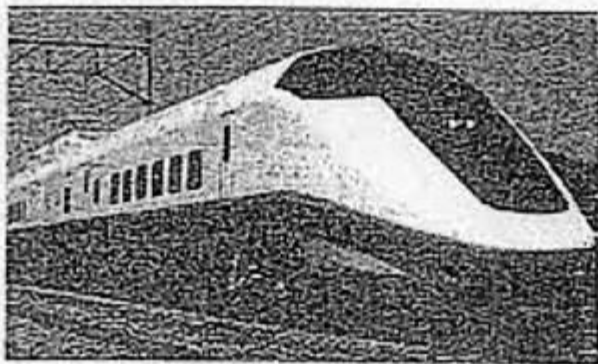
先月下旬から、JALの東京ーロンドン間のビジネスシートが新しくなった。形はシエル構造でハイテクの塊。肉体と精神の安らぎが基本コンセプトで、寝返りがうてるなど空間に余裕がある。これも根っこは「迎賓の心」だ。

従来のGKインダストリアルデザイン研究所は「GKデザイン機構」と改称、親会社に変わって。親たる太陽が日

を象徴している。平成九年開業の秋田新幹線「こまち」は、白い車体に横一筋の紅の帯線

日本は戦後、「衣食足りて礼節を知らず」になり、お客様の迎え方が下手になってし

ま。茶道は京都の世界デザイン会議で千宗室さんに講演していただいた縁で、裏千家の東京道場に弟子入りし、今も続けている。七十歳を過ぎて自宅の隅に小さな茶室を建て、甥輩亭久庵と名付けた。外国人を招くと喜んでくれる。（インターストリアル・デザイン）



秋田新幹線「こまち」

から「迎賓の心」の復活を主張しているが、それが開花したのは茶道だ。千利休が小さな茶室を作ってお客を招き、顔と顔を近づけて親しくなろうとした。さまざま工夫を凝らして人に楽しんでもらわなければ、信頼関係は生まれてこない。

先月下旬から、JALの東京ーロンドン間のビジネスシートが新しくなった。形はシエル構造でハイテクの塊。肉体と精神の安らぎが基本コンセプトで、寝返りがうてるなど空間に余裕がある。これも根っこは「迎賓の心」だ。

ま。茶道は京都の世界デザイン会議で千宗室さんに講演していただいた縁で、裏千家の東京道場に弟子入りし、今も続けている。七十歳を過ぎて自宅の隅に小さな茶室を建て、甥輩亭久庵と名付けた。外国人を招くと喜んでくれる。（インターストリアル・デザイン）

ま。茶道は京都の世界デザイン会議で千宗室さんに講演していただいた縁で、裏千家の東京道場に弟子入りし、今も続けている。七十歳を過ぎて自宅の隅に小さな茶室を建て、甥輩亭久庵と名付けた。外国人を招くと喜んでくれる。（インターストリアル・デザイン）

ま。茶道は京都の世界デザイン会議で千宗室さんに講演していただいた縁で、裏千家の東京道場に弟子入りし、今も続けている。七十歳を過ぎて自宅の隅に小さな茶室を建て、甥輩亭久庵と名付けた。外国人を招くと喜んでくれる。（インターストリアル・デザイン）